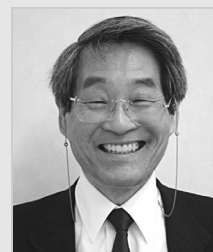


委員会紹介

第5回 総務委員会

2007年度総務委員会委員長

水津 正臣 (25期)



1 総務委員会が扱う事項

総務委員会の扱う事項はとても幅が広い。会則では当委員会の扱う事項として、①職員の任免、監督及び待遇並びに弁護士会員、弁護士法人会員及び職員の表彰に関する事項、②他の委員会の職務に属さない事項で会長が指定するもの、となっている。東弁の数多くある各種委員会のどこも扱わない事項を扱うわけであるから、当委員会では様々な分野の事項を扱うこととなる。

2 総務委員会の構成

2007年度の委員数は24名であるが、委員の殆どが元役員経験者や会務ベテランの委員で構成されている。経験豊富で多才な委員で構成された当委員会では、弁護士会の様々な問題について活発な議論がなされている。

3 2007年度の主な活動

昨年度の主な活動は以下のとおりである。

(1) 各種行事の実施

弁護士会の各種行事を実施している。その主なものは秋に行う先進会員感謝慰労の会と、年始に行う新年式である。

参加対象が70歳以上の会員である先進会員感謝慰労の会では、毎年著名人の講演を行っている。昨年度は映画監督の山田洋次氏をお呼びして講演を行った。

弁護士会の主要行事である新年式は各法曹関係者をお呼びして執り行われる。式では在会50年会員や寿齢80・90・100歳会員の表彰、人権賞受賞者の表彰を行っている。

(2) 人権賞の選考

毎年選考する東弁人権賞の選考も当委員会の所轄であり、委員会内にWGを編成し選考にあたっている。昨年度の東弁人権賞受賞者である「シェア＝国際保健協力市民の会」は、受賞後にマスメディアに取り上げられた。

(3) 各種諮問・意見照会事項の検討

弁護士補償制度廃止後の新制度、23条照会手数料の免除、懲戒処分歴開示制度、役員選挙事務所費用の無料化、弁護士会職員の人事考課制度・給与制度の改正、といった弁護士会運営に関する様々な問題の諮問や意見照会を検討した。

(4) 聴力・視力障害者会員の会務に関する費用援助申請の審査

聴力や視力に障害をもたれている会員からの手話通訳費用の援助申請の審査を行っている。

4 若手会員も積極的に参加を

当委員会の扱う分野はとても幅広く弁護士会運営の主要部分となるものが多いが、それが当委員会の魅力だと思う。委員はベテラン会員が多いが、若手会員も積極的に委員になって当委員会に参加して欲しいと思っている。

* 総務委員会に関する問い合わせ先

全体委員会 毎月第1水曜日 午後3時～5時
担当事務局 総務課 TEL.03-3581-2204